

令和7年度指定管理業務評価表

施設名	友愛の家
施設設置目的	障がい者及び障がい児の支援や地域との交流を通し、障がい者及び障がい児の福祉を増進するため
施設所管課	福祉部障がい福祉課
指定管理者名	岡崎ウェルフェアサポート株式会社
指定管理期間	平成30年4月1日から令和16年3月31日まで

I 業務の履行確認【適正性】

評価項目	評価基準	所管評価
1 施設全般の管理運営		適・改善
(1) 基本管理	基本協定書等に基づき、適切な管理（個人情報の取扱い含む）がされたか	
(2) 職員配置	基準に基づき、適切な人員配置がされたか	
(3) 職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	
(4) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	
(5) 法令順守	管理運営にあたり、法令は順守されたか	
(6) 危機管理	事故、災害時の対応体制が確立されているか。安全性の確保に努めているか。	
(7) 情報保護・情報公開	個人情報保護・情報公開制度に基づき、適切に運用されたか	
2 利用状況		適・改善
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は、適切な水準か	
(2) 利用料金（使用料）	利用料金の設定、徴収・減免・還付、利用許可の手続きは適切か	
3 保守点検並びに清掃業務等		適・改善
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検（昇降機、電気機械、電話、消防設備等）が適切に行われたか	
(2) 清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃、廃棄物処理、維持管理が適切に行われたか	
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	
I の総括	I 業務の履行に対する施設所管課の評価理由	
適	事業契約書、年間計画書等に基づき、適切な維持管理・運営業務が行われていたため。	

II サービスの質に関する評価【有効性】

評価項目	評価基準	
1 利用者評価（Iゾーンの施設は削除してもよい）		アンケート結果
(1) 接客業務	利用許可等における接客、クレーム対応等の対応は適切か	良・適・不適
(2) 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適切か	良・適・不適
(3) 施設運営業務	実施された事業内容は円滑に行われ、適切か	良・適・不適
2 目標達成度		所管評価
(1) 取組姿勢	施設目的や運営課題に沿った目標を設定し、目標達成に向けた取り組みを行ったか。	良・適・不適
(2) 目標達成	目標は達成されたか	良・適・不適
3 事業の実施		所管評価
(1) 提案事業	基準に基づく提案事業が効果的に行われたか	良・適・不適
(2) 自主事業	施設の目的に沿った自主事業が効果的に行われたか	良・適・不適
II の総括	II サービスの質に対する施設所管課の評価理由	

良	1日あたり4講座以上の開催に加え、定期講座 78 種類、単発講座 38 種類の計 116 種類の講座を開催するなど、利用者ニーズを踏まえた講座の見直し等により、利用者数前年比 105.5%、対目標比 146.8%と、目標を大きく上回る実績を達成することができた。 また、アンケート調査では、好意的な評価が大半を占めており、利用者の満足度が高い結果となっていることから、適切な施設運営がされたものと評価できる。
---	--

Ⅲ サービス提供の効率性・安定性に関する評価【効率性・安定性】

評価項目	評価基準	所管評価
1 効率的な運営状況	経費の節減及び効率的な管理運営のための創意工夫がみられるか	良・適・改善
2 施設運営の事業収支		適・改善
(1) 施設運営の事業収支	事業収支は妥当か。使用料や利用料金の増等につながっているか。	
(2) 施設経営状況	施設経営状況分析指標の結果は、妥当か	
(3) 経営状況	指定管理者の経営状況は妥当か	
Ⅲの総括	Ⅲ サービス提供の効率性・安定性に対する施設所管課の評価理由	

総合評価	市の評価（特に評価した点がある場合、その点も記入）
A	講座利用者数及び来館者数は前年度から微増となっており、単発講座の種類の拡充や夜間講座の開催などを実施し、新たなニーズの開拓に取り組みながら、対目標比 146.8%と、目標を大きく上回るとともに、受講者数の増加に努めた。 また、「福祉の村夏祭り」や「パラスポーツ体験会」、「映画上映会」等、年間を通じて 84 回イベントを開催し、地域との交流機会を確保することができた。利用者アンケートの満足度も高く、特に講座の種類については「良い」または「まあまあ良い」の回答割合がおよそ 9 割を占めており、利用者からの意見を参考に新規講座を企画、開催するなど利用者のニーズに合わせた適切な事業実施がされたものと評価できる。

※ 本業務評価は毎月 の 報告書、随時 の 現地調査、年度事業報告書等を基に評価しています。

Ⅰ の総括基準

適＝所管評価がすべて適である。

改善＝所管評価で改善がある。（要改善）

Ⅱ の総括基準

良＝アンケート結果・所管評価がすべて適以上であり、4 つ以上良がある。

適＝アンケート結果・所管評価がすべて適以上であり、良が 3 つ以下である。

不適＝アンケート結果・所管評価で不適があり、早急に改善する必要がある。

Ⅲ の総括基準

良＝所管評価がすべて適以上であり、かつ特に評価すべき点がある。

適＝所管評価がすべて適である。

改善＝所管評価で改善がある。

総合評価基準

A (優良)＝すべての総括項目が適以上であり、かつ特に評価すべき点がある。

（Ⅱ サービスの質に関する評価【有効性】を評価する場合は、良でなければならない。）

B (良好)＝総括基準が適である。

C (要改善)＝総括評価で改善、又は不適がある。